



健康で快適な住み心地

健康で快適に暮らすために大切なのが、空気・窓・音など 室内環境の性能です。

空気環境

- 化学物質や微生物で汚染された室内の空気を吸うことで、様々な体調不良を引き起こす健康障害の総称を「シックハウス症候群」と言います。対策として、24時間換気システムの設置が義務づけられています。
- 換気扇で常に換気して、室内の湿度を適切に保つことは、結露やカビを抑制します。
- 窓を開けることで自然換気を行うには、空気の入口と出口の風の流れ、つまり風の通り道を意識して窓を開放することで換気することができます。



光環境

- 室内の自然な明るさは、日照や窓からの採光によります。
- 光を取り入れる窓の向きは、周辺環境によって異なります。隣の家で日差しが遮られるなど、建物の立地によって窓の向きや大きさになっていることが多く、それが室内の明るさにつながります。
- 採光を確保する方法として天窗(トップライト)は有効です。



音環境

- 住まいの中で発生する音には、「振動として伝わる衝撃音」と「空気伝わる音」があります。
- 外部からの音は、吸音性の高いカーテンを設置したり、二重サッシにするなどの対策方法があります。
- 上階で発生する床の衝撃音は、遮音性が高い床仕上げにするなどの対策方法があります。また、二世帯住宅や共同住宅では下の階への配慮が必要です。
- マンションの場合、管理規約で床の衝撃音に関する規程があることが多く、防音性の高い床材や床の組み方により防音性能を確保しています。
- 音の感じ方や振動の伝わり方には個人差があります。

